縄文文化の成立

約１万年前に地球は完新世になった。更新世から完新世に至る過渡期には、気候が次第に温暖になり、人類は新石器時代を迎えた。また、日本列島では縄文時代が始まり、人々は縄目文様の土器を使用した。これらの時代に生じる動植物の変化、海面の上昇は、気候の温暖化を成因とすることに留意したい。

○ 自然環境の変化

●更新世から完新世への過渡期

更新世から(1)＿＿＿＿＿＿（約１万年前～現在）に至る過渡期に、地球の気候は次第に温暖になっていった。

⇒日本列島では次の３つの変化が生じた。

①動物の変化

…大型動物が絶滅し、中・小型動物が多く生息

②植生の変化

…寒冷な気候に適した針葉樹林の分布が狭まり、東日本に落葉広葉樹林、西日本に照葉樹林が分布

③海面の変化

…海面が上昇して、沿岸部に入り江が増加

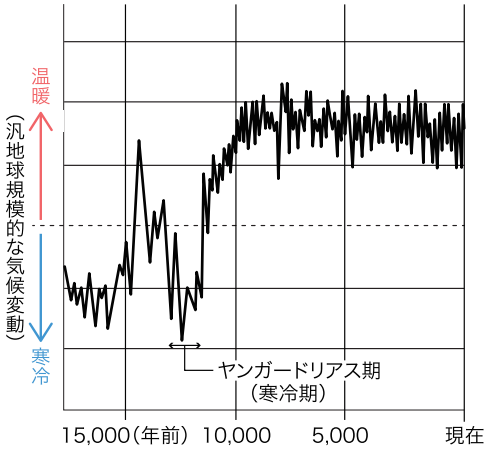

図１　更新世～完新世の気候

○ 縄文時代の展開

●時代区分の変化

地球が約１万年前に更新世から完新世に移った頃、２つの時代区分も変化した。

石器による区分…旧石器時代から(2)＿＿＿＿＿＿（約１万 2000 年前～）

土器による区分…先土器時代から(3)＿＿＿＿＿＿（約１万 2000 年前～）

●食料獲得と生活の変化（①～③は上記参考）

縄文時代の食料獲得の手段には、次の３つがあった。

(4)＿＿＿＿…変化①により、Ⓐ中・小型動物（イノシシ・ニホンシカ）が狩猟対象

(5)＿＿＿＿…変化②により、Ⓑ豊富な木の実（クリ・クルミ・カシ）が採取可能

(6)＿＿＿＿…変化③により、Ⓒ食料獲得の手段に新たに追加

⇒これらは、旧石器時代と比べて食料獲得手段の多様化を意味する。

図２　カシ（照葉樹）

図３　コナラ（落葉広葉樹）

↓

これによって生活が安定し、(7)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

→住居は(8)＿＿＿＿＿＿で、飲料水確保のために水辺近くの台地に立地した。

→住居以外に、食料を保存する貯蔵穴群（ちょぞうけつぐん）や墓地、ゴミ捨て場の(9)＿＿＿＿＿があった。

⇒これら住居・設備をもち、人々は 20～30 人程度の集団で生活した。

図４　竪穴住居の断面

↓

３つの鉱物の分布から、こうした集団は遠方の集団と交易をおこなったと分かる。

(10)＿＿＿＿＿＿（産地：北海道(11)＿＿＿＿＿、長野県(12)＿＿＿＿＿＿、大分県**姫島**）

(13)＿＿＿＿＿＿（産地：岐阜県**下呂**（げろ）、和歌山県**二上山**（にじょうさん）、香川県金山（かなやま）・五色台（ごしきだい））

(14)＿＿＿＿＿＿（産地：長野県～新潟県(15)＿＿＿＿＿流域）

図５　鉱物産地の分布

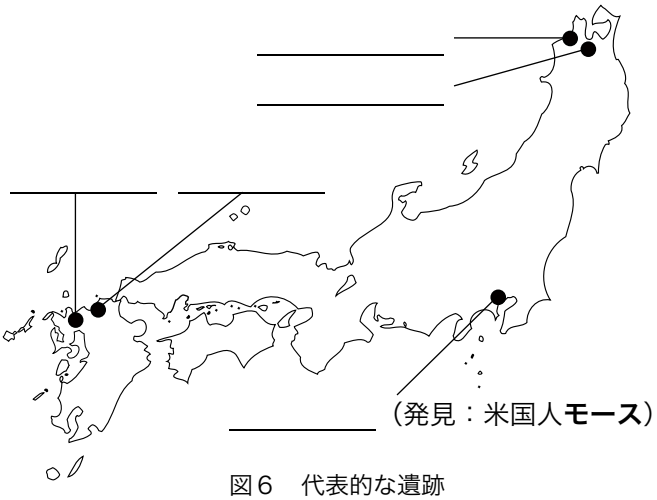

図６　代表的な遺跡

●道具の変化（Ⓐ～Ⓒは左ページ参考）

打製石器とともに、(16)＿＿＿＿＿石器を様々な場面で利用した。

＜狩猟＞

Ⓐにより、素早い中・小型動物を捕らえるために、**弓矢・落とし穴**を利用した。

⇒石器としては、矢の先に取り付ける(17)＿＿＿＿＿や、

動物の皮を剥ぐための(18)＿＿＿＿＿などが利用された。

図７　石鏃（せきぞく）（左）・石匙（せきひ）（右）

＜採取＞

Ⓑにより、採取した木の実を(19)＿＿＿＿＿・＿＿＿＿＿ですり潰したり、

土器で煮て灰汁（あく）抜きしたりした。

⇒土器は縄目文様をもつことから(20)＿＿＿＿＿と呼ばれ、

低温（600℃程度）で焼成されたために、厚手で黒褐色である。

図８　石皿・すり石

↓

縄文時代は、（20）の特徴の差異から６つの時期に区分される。

⇒草創期・早期・前期・(21)＿＿＿＿＿・後期・(22)＿＿＿＿＿である。

＜漁労＞

Ⓒにより、骨・角を材料とした(23)＿＿＿＿＿（釣り針・銛（もり）など）や、

(24)＿＿＿＿＿と呼ばれる舟を利用した。

図９　骨角器

●信仰と儀礼

(25)＿＿＿＿＿（自然物・自然現象に霊威が存在するという考え）があった。

⇒(26)＿＿＿＿＿という葬法は、一説によると（25）に基づく。

図 10　屈葬

＜風習を示す遺物＞

女性を象（かたど）る(27)＿＿＿＿＿、男性生殖器を表現した(28)＿＿＿＿＿がある。

◇(27)…意図的な欠損が見られ、男性を象るものもごく少数あり

図 11　土偶

図 12　抜歯

＜通過儀礼＞

通過儀礼には、(29)＿＿＿＿＿の風習があった。